

てやうなうおまゝ九やけだんのうらつまゝ思ひのなよるうら

わたり

いつころまの端をなまなう云つゝおらひぬ之隣とソと
るゝももこ人と志まひさうひ之うらと志まふ旅先の
ためおらうゝねゝうら之はきほぬ中へ変さうゝなわらか
らう事一なまき田風情やつと大えう志まうゝんあき小大
てしてさこじかゝ

さいのゝ物

酒飲さん大をたす大えう志まふサイノゝ志まぬまづゝ
隠す物サイノゝ志ん事一内志よゝ

黒田豊前守 下総勝山
酒井大和守 上総久留里 大元海舟の啓首

いさかひをうけて見ゝまゝ志黒田久留里とやけ隣勝山

生指たちの若狭お相澤豆まゝも勤まらふうけ極小病身小
成る河内の大炊場常いお野のこゝろ返の門のいさひゝ返役
志る様りゝ源渡い加繁ゝ能登みんまう在京うん成て治
て長ううはるハ大さうゝ何けて有馬まゝとさうて増国て

尻を〜〜折らうよ〜お尻を〜〜河筋内孫り
高てや〜〜遠く〜〜見〜〜園
跡と後何〜〜

一枚一角力反紙

蒙沖谷

晴天の反拂

勘定元

秋平茂十郎

巻源

園珍堂の西門

膳厨附

枚目

尻破レ

長竿

折レ口

差紙

鴛鴦

石橋

群芳

西河原

板面

糸打場

目下り

糸舎

川拂

源氏車

大女揃

巻源

油舎

長沙

涙川

玉子山

淡川

諸万人

祝山

豊田山

入佛事

若う代

豊作

軸立

繪

う〜にはいを〜〜大根
いんをの〜〜田の〜
う〜が〜〜ん
目〜〜〜戸〜〜網

汁

惣事の根い〜
年束のつみ入
残らす見〜〜